

第53回

道民教合同研究さっぽろ集会

この夏！ 本物の学びとは何か、子どもたちが豊かに育つとはどういうことなのか、この集会に参加して、じっくり考えてみませんか。全道の仲間の実践や講座から、きっとあなたの探しているものが見つかるはず！ 父母のみなさん、子どもたちの成長に本当に大切なものは何か、一緒に考え学び合いませんか。



研究 テーマ

- ◆子どものからだと心の声を聴きとる
 - ◆学ぶときめき 生きるよろこびを育む
 - ◆くらしを見つめ、“子育て” 共同の輪をつくる
- 憲法・子どもの権利条約をいかに教育と学校の創造—

とき 2014年6月29日(日)

ところ 札幌市立本通小学校

札幌市白石区平和通9丁目南1-1 TEL (011) 861-8196

参加費 ●教師：2000円 ●父母・学生・一般：1000円
※子ども（高校生以下） 無料

記念講演

12:30~14:00

チョークで書く「希望」

～子どもも教師もわくわくする授業～



岩辺 泰東 さん

(読書のアニメーション研究会代表・学びをつくる会世話人・
3月まで明治学院大学教授・元東京都公立小学校教師)

いわなべ・たいじ

●1943年静岡県生まれ。神戸大学卒。1986年9月より東京都足立区、葛飾区の小学校で37年間を務め2004年3月定年退職。2010年4月～2014年3月まで明治学院大学心理学部教育発達学科で国語を担当して小学校教員養成に携わる。「豊かな問いを育てる総合学習の創造」を掲げ、若い教師たちと「学びをつくる会」を進めている。1998年より広い世界へ子どもたちを誘う「読書のアニメーション研究会(アニメーションクラブ)」を立ち上げ、あそび心、推理、協同による参加型読書の開発・普及を図っている。現在の名刺の肩書は「子どもの本の語り部」。

***モットー**：子どもはランドセルとともに喜びも悲しみもはこんでくる。

●主な著書：『チョークで書く「希望」』(大月書店)、『ランドセルがはこぶ風』(新日本出版社)、『だいすき国語』(大月書店)、『子どもたちに詩をいっぱい』(旬報社)、『ぼくらは物語探偵団～まなび・わくわく・アニメーション』(編著、柏書房)、『はじめてのアニメーション～1冊の本が宝島』(柏書房)など多数

「子どもはランドセルとともに生活を背負ってる」—この言葉は、恩師＝小川太郎先生が繰り返し私たち学生に語った言葉である。そのランドセルの重さ、喜び、悲しみを受けとめながら、私たちは子どもと歩くのだ。私たちが前に立って風をしのぐときもある。子どもたちが前に立って、私たちはその背中を押しながら歩くときもある。いっしょに手をつないで歩くときもある。この子たちは必ずあしたを生きる。私たちの仕事は必ず今日を明日につなげる。「小さなバトンをたくさん手渡していく」「困難を数え上げるだけでは、何も変わらない。何ができるかを考えよう。あなたと同じ悩み、夢、希望を持っている仲間は、あなたの隣にいる。一人で考えているうちは 夢 二人で話せば 希望 三人で話せば 力 …」
「希望」—私たちはそれをチョークで書く。消しては書き、消しては書く。それが、私たちの「希望の語り方」であるから。
(「チョークで書く「希望」より)

《前日プレ企画》 岩辺先生の 読書のアニメーション・ワークショップ

■6月28日(土) 15:00~17:00

■本通小学校 視聴覚室

記念講演講師の岩辺泰東先生が参加者と一緒に読書のアニメーションを実践しながら、そのねらいと手法を伝授！この機会にぜひあなたもアニメーターに！

★終了後、岩辺先生を囲んでの交流会もあります。

- 主催：北海道民間教育研究団体連絡協議会(道民教) <http://douminkyoku.okoshi-yasu.com/>
- 連絡先：【道民教事務所】 〒069-0834 江別市文京台東町1-8-101 / FAX: 011-378-9746
Eメール: ittetu@alpha.ocn.ne.jp / 携帯: 090-9752-3655 (事務局・太田)
- 後援：木下晃市／北海道新聞社

